

出会った人々
加須市の皆さん
ありがとうございました

たけうち ひろみ
武内 裕美

元双葉町役場 総務課長

昭和 28 年（1953）、双葉町生まれ。

双葉町役場職員として、定年退職まで企画課長、総務課長などを歴任。

2014 年 4 月より再任用職員として 5 年間勤務し、2019 年 3 月に期間満了。

企画課長及び総務課長として、原子力発電所からの情報を収集しながら各避難所の対応にあたってきました。震災の翌日から川俣町、さいたまスーパーアリーナ、埼玉県加須市の旧騎西高校へと、不安と焦燥感に苛まれた町民が、何も言わず、何も言えずに避難する姿を覚えています。その後長期にわたった避難生活、先の見えないつらい日々。

避難所は仕切りのない共同生活です。

プライバシーはなく、ストレスを抱える人が多かった。

当初は役場が避難所運営を行っていましたが、ある程度落ち着いてからは避難所内に自治会を設立し、自立の方向性が確立したことは良かったと思います。

原発事故に対しては、とにかく悔しい。

でも避難先で出会った方々の支援のおかげで、厳しい状況をどうにか乗り越えることができました。加須市をはじめ、全国の皆さんの支援はとてもありがたかった。感謝の思いを後世に引き継ぎたい。

加須市とは友好都市を締結しました。私自身はこの 10 年で、さまざまな人間関係が広がったことが唯一良かったことで、今でもお付き合いがある方がいます。

震災前に町の振興計画で策定していた「自助・共助・公助」が本当に大事だったと実感しています。



2015 年 3 月 27 日、双葉町役場を視察する安倍晋三首相（当時）に説明する武内さん（右から 2 人目）